

平成 30 年 度

開星高等学校入学試験問題

(第 1 限 9 : 10 ~ 10 : 00)

国 語

注 意

- 1 「始め」の合図があるまでは、開いてはいけません。
- 2 問題は全部で 4 題あり、7 ページまでです。
- 3 「始め」の合図があったら、まず、解答用紙に受験番号を書きなさい。
- 4 答えは、すべて解答用紙に書きなさい。
- 5 「やめ」の合図で、すぐ鉛筆をおき、解答用紙を裏返しにして机の上におきなさい。

【第一問題】

次の文章を読んで、下のそれぞれの問いに答えなさい。

(注) 「感受性」は環境からの刺激、特に薬剤や病原体により反応をおこすことができる性質。

問一 傍線部ア、イの漢字はその読みをひらがなで書き、カタカナは漢字で書きなさい。

問二 二重傍線部 a 「性」の部首名をひらがなで答えなさい。

問三 二重傍線部 b 「アリのような」の「ような」と同じ働きをしているものを、次のア、イ、エの中から一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 天気が良いようなら行こう。
- イ 私の家もちようどこのような家だった。
- ウ 獲物をねらう鳥のような眼光。
- エ まるで宝石のような輝きだ。

問四 波線部①「いくつかの種類がある場合、〳種多様性が高いほうが、特定のカエルが寄生虫に取りつかれる頻度は()」。()。について、空欄に入る言葉を六字以内で答えなさい。(句読点は含まない)

問五 波線部②「いくつもの種がコストを払って共存し合うこと」と同じ内容を表している文を本文中より三十字で抜き出して答えなさい。(句読点も一字に数える)

問六 空欄 I・II に入る言葉を次のア、イの中から一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 感受性のあるカエルの存在
- イ 感受性のないカエルの存在
- ウ 感受性のない他種のカエルの存在
- エ 感受性のある他種のカエルの存在

問七

波線部③「様々な種類が存続し続けるためには、「一見自分にとって『嫌な』相手が滅びないようにすること」が有効だ」とあるが、なぜそう言えるのですか。「カエルにとっては「寄生虫にとっては」に続く形で二点に分けて、それぞれ三十五字以内で答えなさい。

(句読点も一字に数える)

問八

波線部④「負けるが勝ちにつながる複雑な生物の関係」になっている事例として最も適切なものを次のア～エの中から一つ選び、記号で答えなさい。

ア アリの社会にいる全く働かない個体の存在は非効率であるが、あえて温存させて、よく働く個体が疲れて働けなくなったときに、代わりに仕事をこなすことで、システム全体がダウンしてしまうことを防ぐ機能がある。

イ 人間の社会では組織の効率を上げるため、構成員に極限までの労働を求めて、構成員が働けなくなると他から補充し、耐え抜いた企業のみが生き残る状況がある。

ウ クジャクの長く派手な尾羽はメスを惹きつける戦略だ。派手になると捕食者に目だつて食べられやすくなるが、メスに選ばれる有利性が存在するため、種が滅亡に向かったとしても、オスは派手になる性選択を止められない。

エ サムライアリの女王はクロヤマアリの巣に潜り込み、クロヤマアリの女王になりすまし、クロヤマアリのサナギを羽化させるワーカーにして、サムライアリの幼虫を育てさせる。

【第二問題】

次の文章を読んで、下のそれぞれの問いに答えなさい。



問一 傍線部ア～エの漢字はその読みをひらがなで書き、カタカナは漢字で書きなさい。

問二 波線部 a「胸を叩いた」について、次の(1)・(2)の各問いに答えなさい。
(1) この動作に表現されている気持ちとして最も適切なものを、次のア～エの中から一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 知識の深さを自負する気持ち イ 秘密にして隠したい気持ち
ウ 強さを誇ろうとする気持ち エ ドキドキして高揚する気持ち

(2) 「胸」という漢字を用いた慣用句の中で、「ほっとする。安心する。」という意味になるように、次の言い回しに続く言葉を空欄に補いなさい。

「胸を 」

問三 波線部 b「まどろこしそうに」とあるが、「まどろこしい」の意味を、次の文の空欄にふさわしい言葉を入れて説明しなさい。

「することが」ので、イライラする感じ。」

問四

波線部①「周期的に襲ってくるいつもの絶望感」とあるが、この心情は何が原因していると考えられるか、本文中の表現と「受験」・「努力」の二語を必ず用いて、**四十字以上、五十文字以内**で答えなさい。
(句読点も一字に数える)

問五

波線部②「星はいつでもきれいな」とはどういう意味か、最も適切なものを次のア～エの中から一つ選び、記号で答えなさい。

ア 季節によって同じ空に見える星は異なるということ。

イ 星の輝きは日によって変わるものではないということ。

ウ 天体望遠鏡から見える星も、肉眼から見える星も変わらないということ。

エ 愛する星のことを素人の「ぼく」が気安く言うべきでないということ。

問六

波線部③「手の届くような宇宙の輝き」と同じ様子を言い表している部分を文中から**十五字**で抜き出し、初めの**五字**を答えなさい。

問七

波線部④「『さびしいもんやなア』ぼくは心からそう感じて呟いた」とあるが、このときの「ぼく」の心境として適切なものを、次のア～オの中から二つ選び、記号で答えなさい。

ア せっかくな「勇」がいていねいに星のことを説明してくれているのに、星のありかを見つけたことができない不器用さと、平気で何時間も望遠鏡に夢中になっている無神経さに対する罪悪感。

イ 多くの作家の小説を読みあさっても、なお出会うことのできない小説の世界があり、同様に、天体望遠鏡ですらとらえられないはるか彼方の無数の星や星雲があるということへの虚無感。

ウ 人間は無力ではかないが、星たちにも、それぞれ異なる寿命や光の強さがあり、永遠絶対的な存在ではないという、宇宙に対する絶望感。

エ 「勇」や「妹」など自分にとっては身近な人々が、かけがえのない、いとおい存在である反面、この地球上では、ほんのちっぽけな存在にすぎないという無力感。

オ いくら多くの小説を読みあさっている自分でも、星のことではやはり「勇」に勝つことはできないと感じる劣等感。

【第三問題】 次の古文を読んで、下のそれぞれの問いに答えなさい。

これも今は昔、ある僧、人のもとへ行きけり。酒など勧めけるに、

出てきたので、

※氷魚はじめて出で来ければ、あるじ珍しく思ひて、

用事があつて

家の奥へ行つて

もてなしけり。あるじ用の事ありて、内へ入りて、また

出でたりけるに、この氷魚の殊の外に少なくなりたりければ、

こと ほか

言葉にするべきことでもなかつたので、

あるじ、いかにと思へども、いふべきやうもなかりければ、

世間話をして
物語し、みたりける程に、この僧の鼻より氷魚の一つふと

出でたりければ、あるじあやしう覚えて、「その鼻より氷魚の

出でたるは、いかなることにか」といひければ、取りもあへず、

「このごろの氷魚は目鼻より降り候ふなるぞ」といひたりければ、

人皆、「は」と笑ひけり。

【『宇治拾遺物語』より】

問一 傍線部ア・イの読み方を現代かなづかいで書きなさい。

問二 傍線部ア「ある僧、人のもとへ行きけり」を現代語訳するとき、次の空欄にふさわしい助詞を答えなさい。

〔現代語訳〕 ある僧 、（ある）人のところへ行つた。

問三 波線部Bの主語を文中から探し、抜き出して答えなさい。

問四 二重傍線部X・Yの口語訳として最も適切なものを次のア～エの中からそれぞれ一つずつ選び、記号で答えなさい。

ⓧ 「いかに」

ア どんなにか

ウ どれくらいか

Ⓨ 「あやしう覚えて」

ア 意外に思つて

ウ よくないと感じて

問五 傍線部①「珍しく思ひて」とあるが、なぜ珍しいと思ったのか、最も適切なものを次のア～エの中から一つ選び、記号で答えなさい。

ア 僧があるじの家を訪ねてきたから。

イ 僧なのにお酒を持参してくれたから。

ウ あるじは大変けちで有名だったから。

エ 氷魚がその季節の初物だったから。

(注)〔氷魚〕

|| アユの稚魚で、秋から冬にかけて珍味として食べられる。

問六

傍線部②「この氷魚の殊の外に少なくなりたりければ」とあるが、そうなのはどうか、**二十字以内**で簡潔に説明しなさい。

問七

傍線部③「人皆、『は』と笑ひけり」とあるが、この話のおもしろさを説明したものとして最も適切なものを次のア～エの中から一つ選び、記号で答えなさい。

ア 僧の突然の訪問をあやしみつつも、結局僧の正体を見抜くことができなかったあるじのおろかさ。

イ 僧が使いに行った先でおかした失敗を、氷魚を鼻から垂らすという芸当でごまかそうとしたおろかさ。

ウ 欲ばりすぎた僧が、氷魚という名前にちなんで、冬に空から降る雹ひょうが「目鼻から降る」と弁解したこじつけのこっけいさ。

エ 欲張りな僧と、けちで有名なあるじのしたたかな戦いに、周囲の人々が驚きあきれられる様子の様子のこっけいさ。

【第四問題】 次の文章を読んで、下の①～④の指示に従って意見を書きなさい。

北海道にある旭山動物園は動物の行動展示で有名になりました。その一つアザラシを縦の円筒に潜らせて、人間と対面させるしかけ、マリノウェイはアザラシの好奇心を活かした行動展示です。

そのアザラシの水槽にテトラポットと魚を入れて混合展示をする試みが行われました。アザラシが近づくと魚がテトラポットに逃げる様子を見ることができなのです。しかし、魚はアザラシの餌えさですから、アザラシは魚に逃げられるばかりではなく、魚を捕まえることもあります。

魚を捕獲して食べる姿も観察できるわけですが、「展示としては良くない」という意見が上がりました。

参考文献

【『ゴリラは戦わない 平和主義、家族愛、楽天的』(山極 壽一 小菅 正夫)】

① アザラシと魚の混合展示について賛成か反対かどちらかを選び、解答欄の「」内のいずれかに○をすること。

② なぜ賛成なのか反対なのかの理由も述べること。

③ 字数は百字以上、百五十字以内とする。

(句読点や記号も一字に数える)

④ 一マス目から書き始め、段落は設けないこと。

